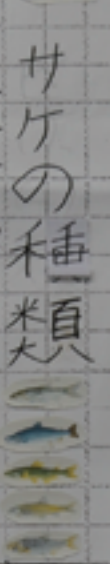
利根大堰新聞

発行者
松田峻一
大島奈暉

利根川ってどんな川

サケの種類



①川の長さ三二二キロメートル
信濃川の次に長い川で、日本第二位！

②流域面積(河川に流れこむ雨水が降る範囲)一六八四十平方キロメートルで、日本一！

③支流数(大きな川からのびている小さな川の数)二八五本

④総流路(大きな川と小さな川を足したすべての長さ)約四四キロメートル

⑤源流(川が流れてる元の場所)三国山脈の大水上山(標高一八五十・群馬県利根郡みなかみ町)

これがとねおうぜきのこうそうです。コイのとうりみちがあります。中にはこいの休ばしょがあります。

これが関東地方の川のじょうたいです。利根川は黒い線の川です。

これはやすむための「ブロック」です。その中にもりがあります。

利根川は、太平よう(ほがっ)につながっています。かにもりろんなけんにつながっています。(ア)

きけんばらきけんちばけんぐんとちぎけんまけんさいたまけんとうきょうとかながわけん

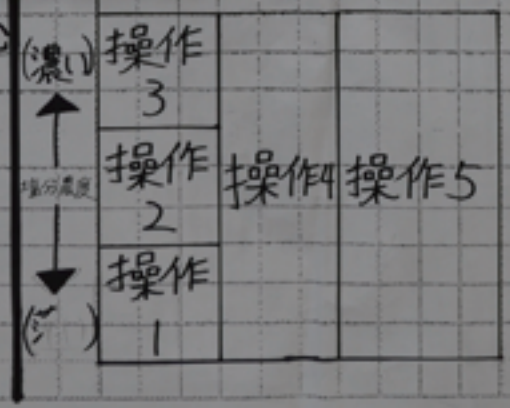
利根川はこいのわけんはじめの海けつながっています。

利根大堰の長さ五百メートル東京タワー一本がんの長さです。

2かうふくしきメートル弱

ゲート操作のしくみ

利根川河口堰のゲート操作は、河川流量、堰上下流の水位、塩分濃度などの変化するデータを定期的に自動かんしそくしてきせいぎょにより切ってゲートを動かせる。ゲートそうさは、行っている。次のうん作は、水のりょうの5ん分の度に対ようして階のうん作パターンでうんそう作ん用している。



感想

・利根大堰の長さが東京スカイツリーと、同じくらいの長さときいてすごいと思いました。

ミニ新聞をつくろう(c)信濃毎日新聞社